

野洲市都市計画マスタープラン

中里地域 タウンミーティング

令和2年8月29日



野洲市都市計画マスタープラン の概要



都市計画マスタープランとは

- 都市計画法（第18条の2）に基づいて定める「市町村の都市計画に関する基本的な方針」となる計画です。
- 市町村が、その創意工夫のもとに**市民の意見を反映して、都市の将来のあるべき姿や都市づくりの方向性**を定めるものです。
- 都市計画では、**土地利用の規制・誘導や道路・公園などの都市施設の整備**などを進めますが、これらは都市計画マスタープランに即して行う必要があります。



計画改訂の趣旨

- 野洲市の都市計画マスタープランは、旧野洲町と旧中主町のまちづくりを受け継ぎ、平成19年に策定されました。その後、令和2年を目標年次として、平成25年に改訂を行いました。
- 目標年次を迎えるにあたり、将来の人口や社会・経済情勢の見通しに的確に対応し、**持続可能な都市づくりを目指し、計画の見直しを行う**ものです。

計画の目標年次



都市計画マスタープランの構成



都市の現況と課題

本市の都市づくりを取り巻く社会経済動向を整理した上で、都市づくりに関する現況を分析し、今後の課題について導出しています。



全体構想

今後の都市づくりにおける基本理念や将来都市像、将来目標を導出し、将来の都市構造を図示しています。また、今後の都市づくりについて分野ごとに整備方針を掲げています。



地域別構想

地域別に都市づくりの目標や整備方針を掲げています。



実現化に向けて

前章までの都市づくりの整備方針に対する実現化方策について掲げています。



都市計画マスタープラン

全体構想（案）

将来都市像

活力ある都市と豊かな自然が調和したにぎわいとやすらぎのあるまち

都市づくりの目標

目標 1 拠点の都市機能集約と歩行空間の改善による賑わい強化

目標 2 安全で利便性の高い居住環境づくり

目標 3 田園集落における地域活力の維持向上に向けたまちづくり

目標 4 都市の安全を高める防災基盤の強化

目標 5 豊かな自然環境の保全と身近に自然を感じられる都市の形成



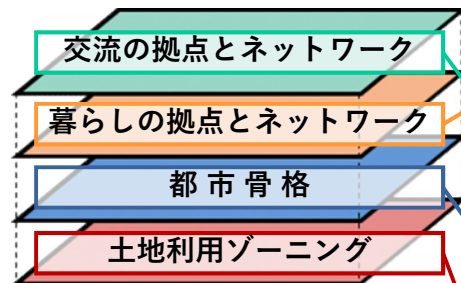
都市計画マスタープラン

全体構想（案）

将来都市構造
(20~30年後)

将来の都市構造

- ・ 4つの層（レイヤー）を重ねて構成



野洲市都市計画マスタープラン 【地域別構想 見直し案】

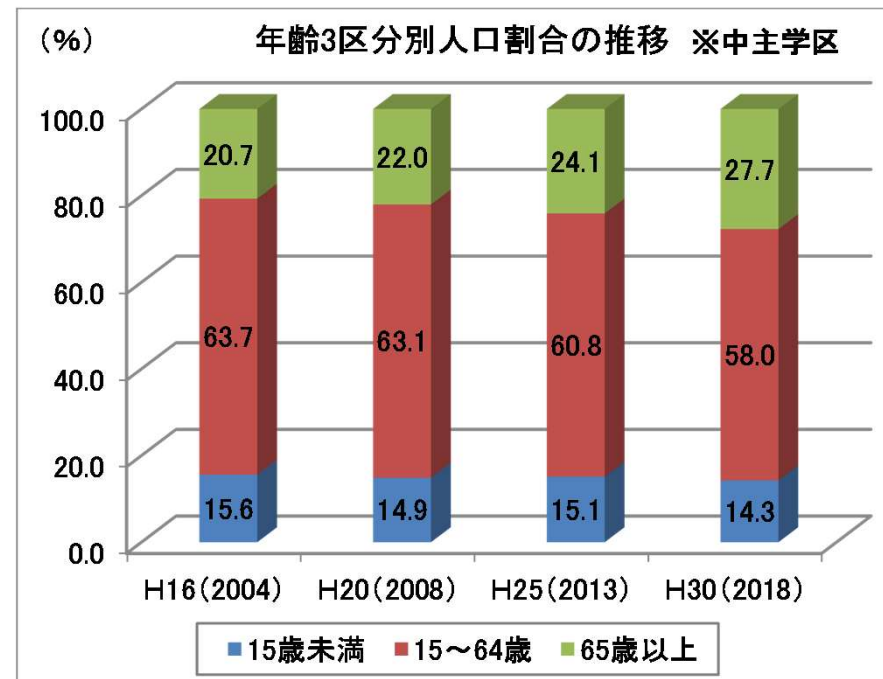
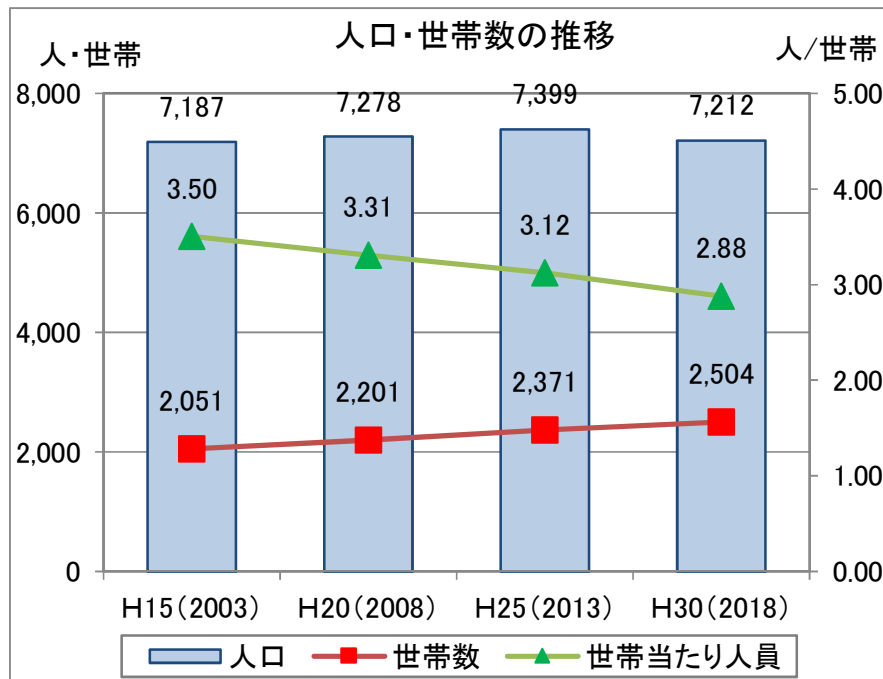


中里地域の概況



(1) 人口動向

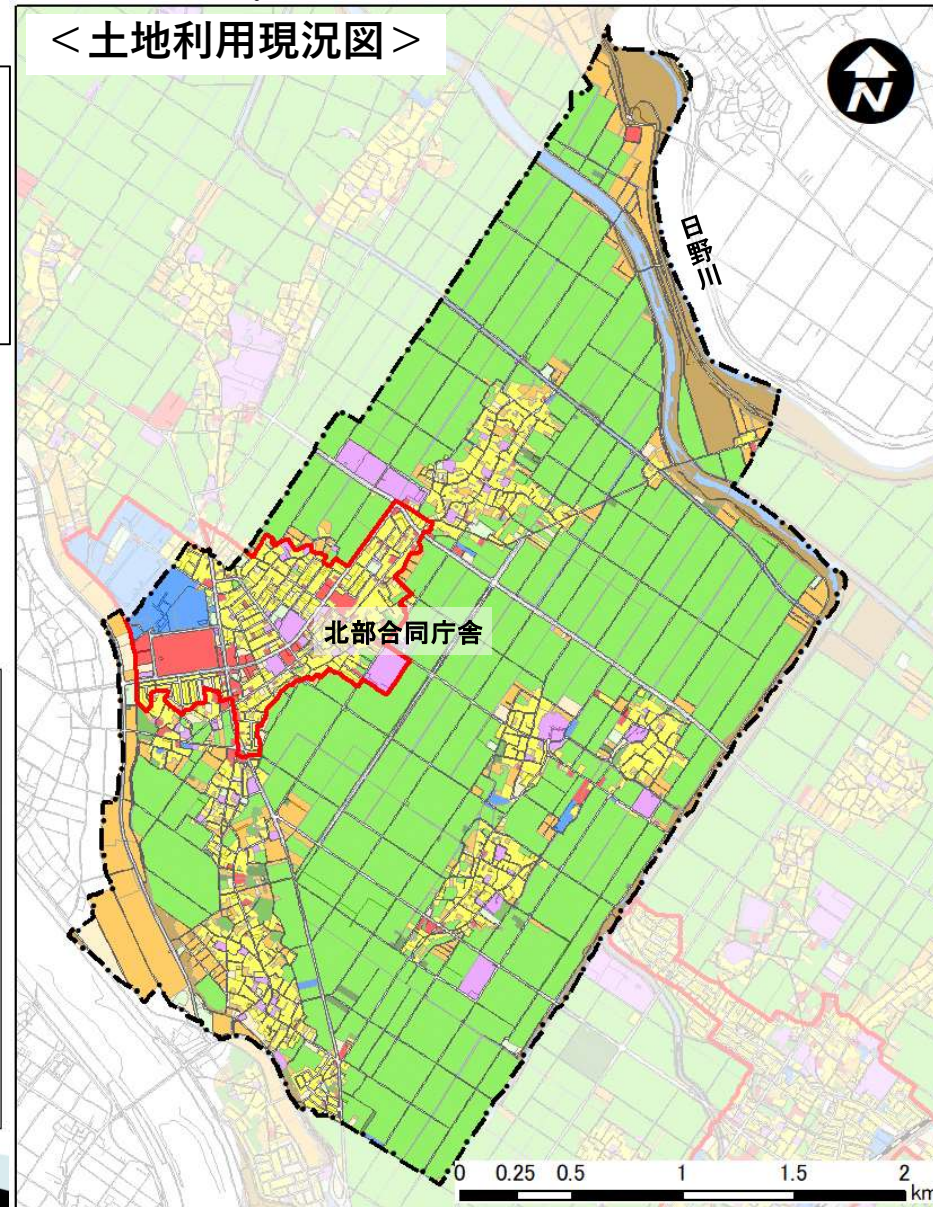
- 人口は微増傾向が続いていましたが、近年減少に転じています。
- 高齢化率（中主学区）は、他の地域に比べるとやや高く、高齢化が進んでいます。



(資料：住民基本台帳)

(2) 土地利用の状況

- 北部合同庁舎周辺に公共施設用地や商業用地が集積しています。

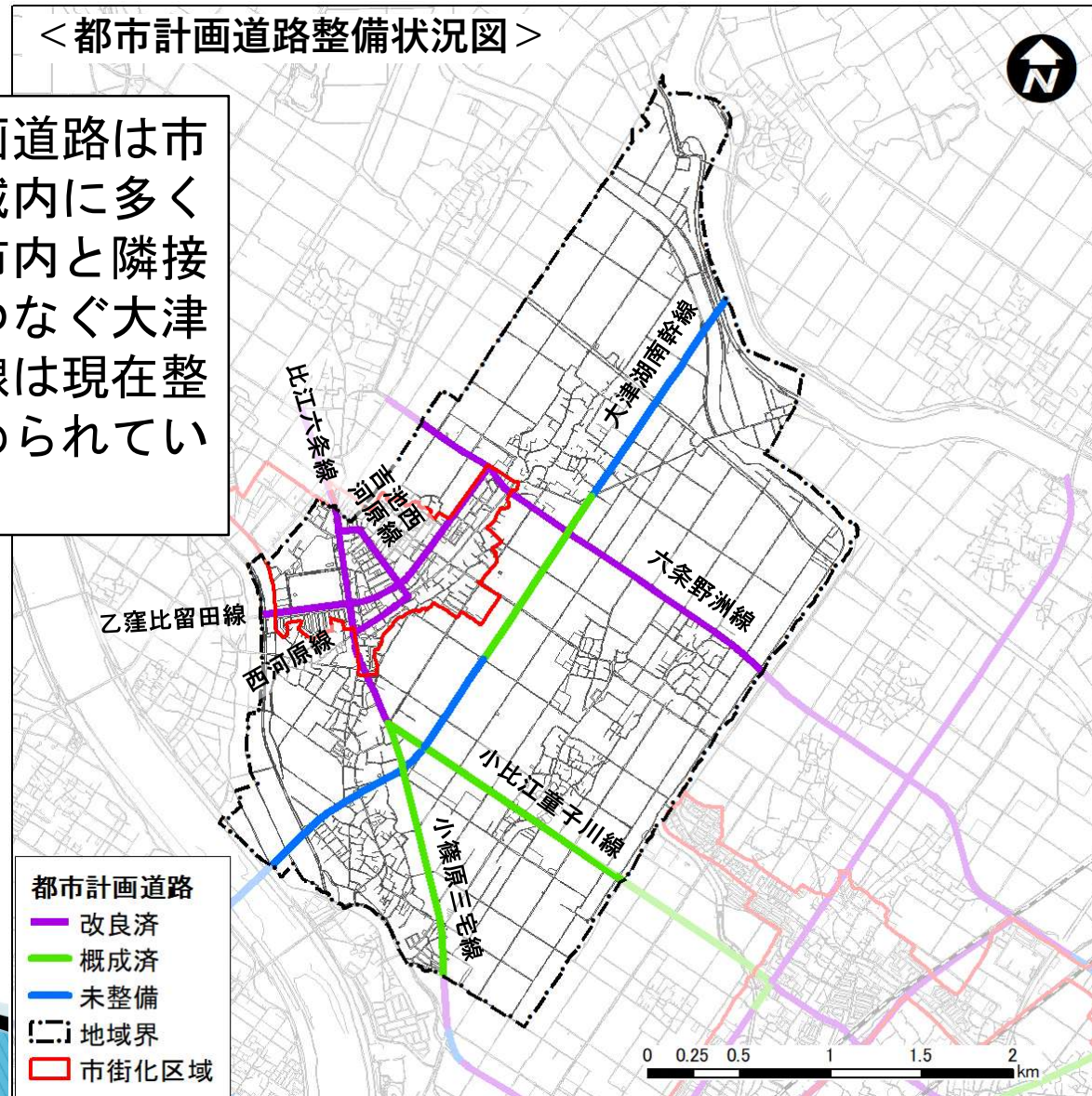


(資料：都市計画基礎調査)

(3) 都市計画道路の状況

＜都市計画道路整備状況図＞

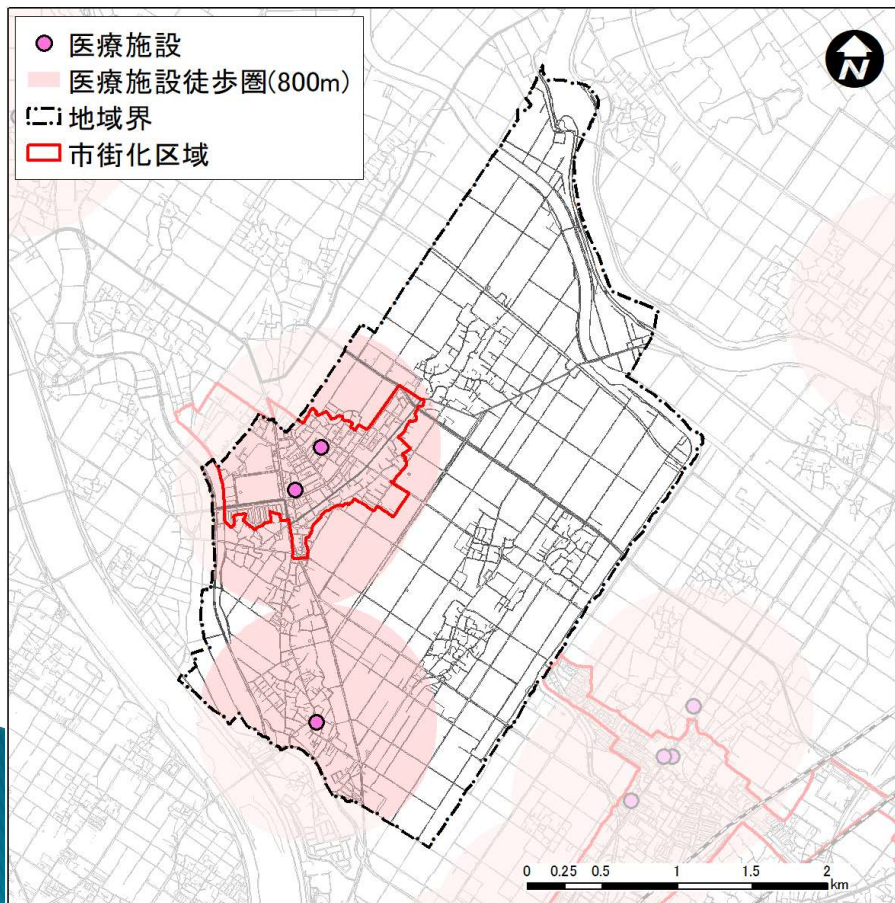
- 都市計画道路は市街化区域内に多くあり、市内と隣接市町をつなぐ大津湖南幹線は現在整備が進められています。



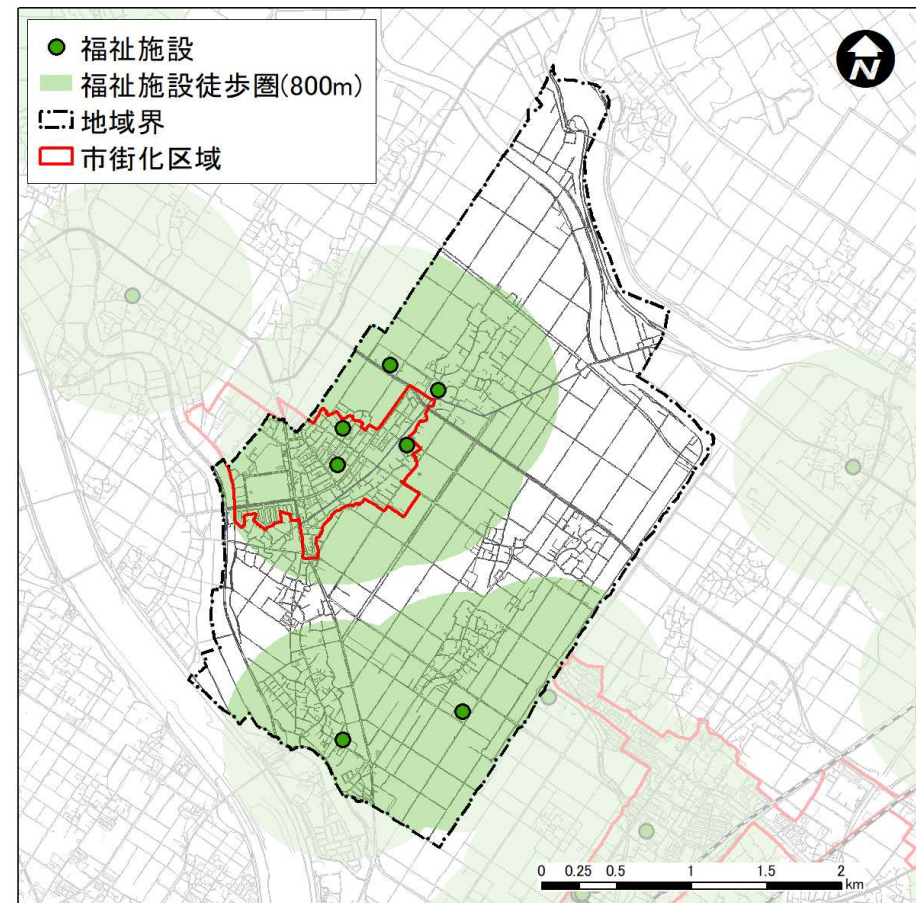
(4) 生活利便施設の分布

- 医療施設、福祉施設は、地域西側にかたよって分布しています。

< 医療施設位置図 >

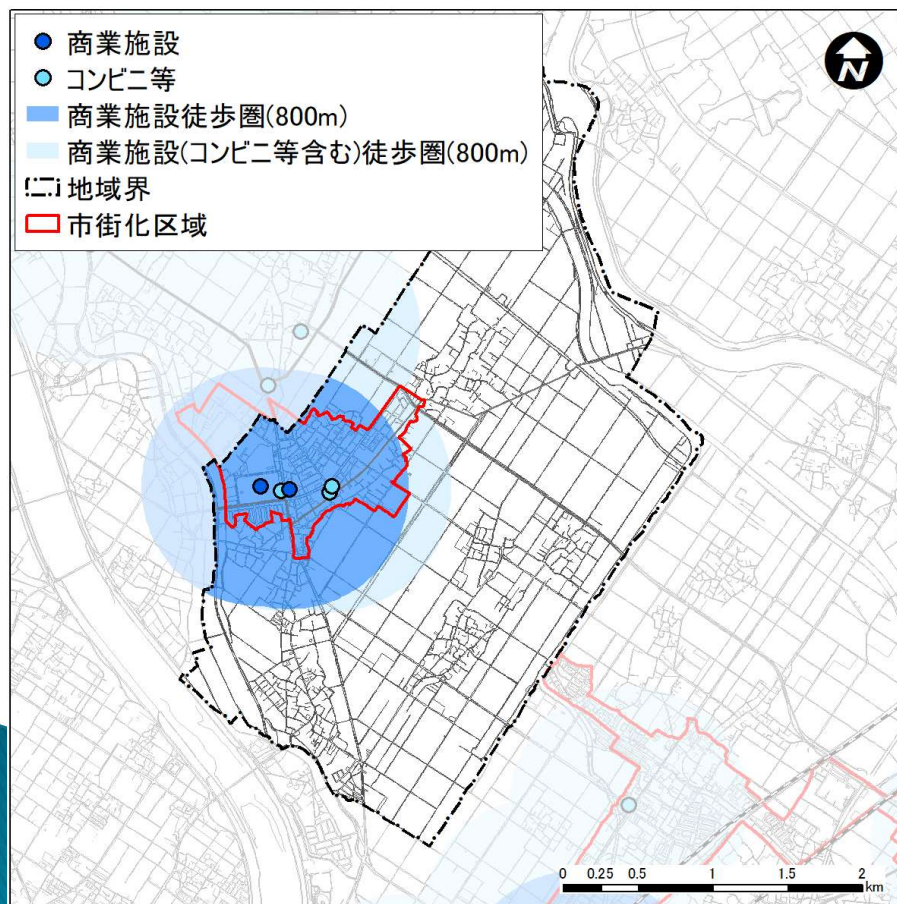


< 福祉施設位置図 >

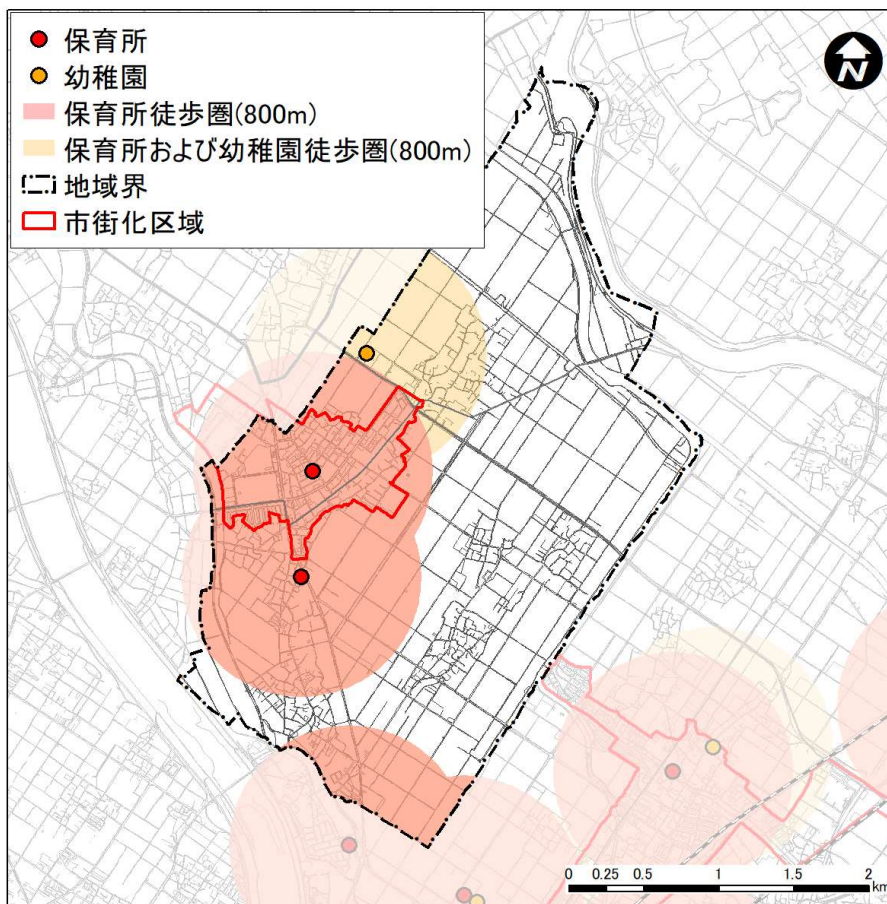


- 商業施設のほかコンビニ等が市街地内に分布しています。
- 保育所、幼稚園が市街地とその周辺に分布しています。

< 商業施設位置図 >



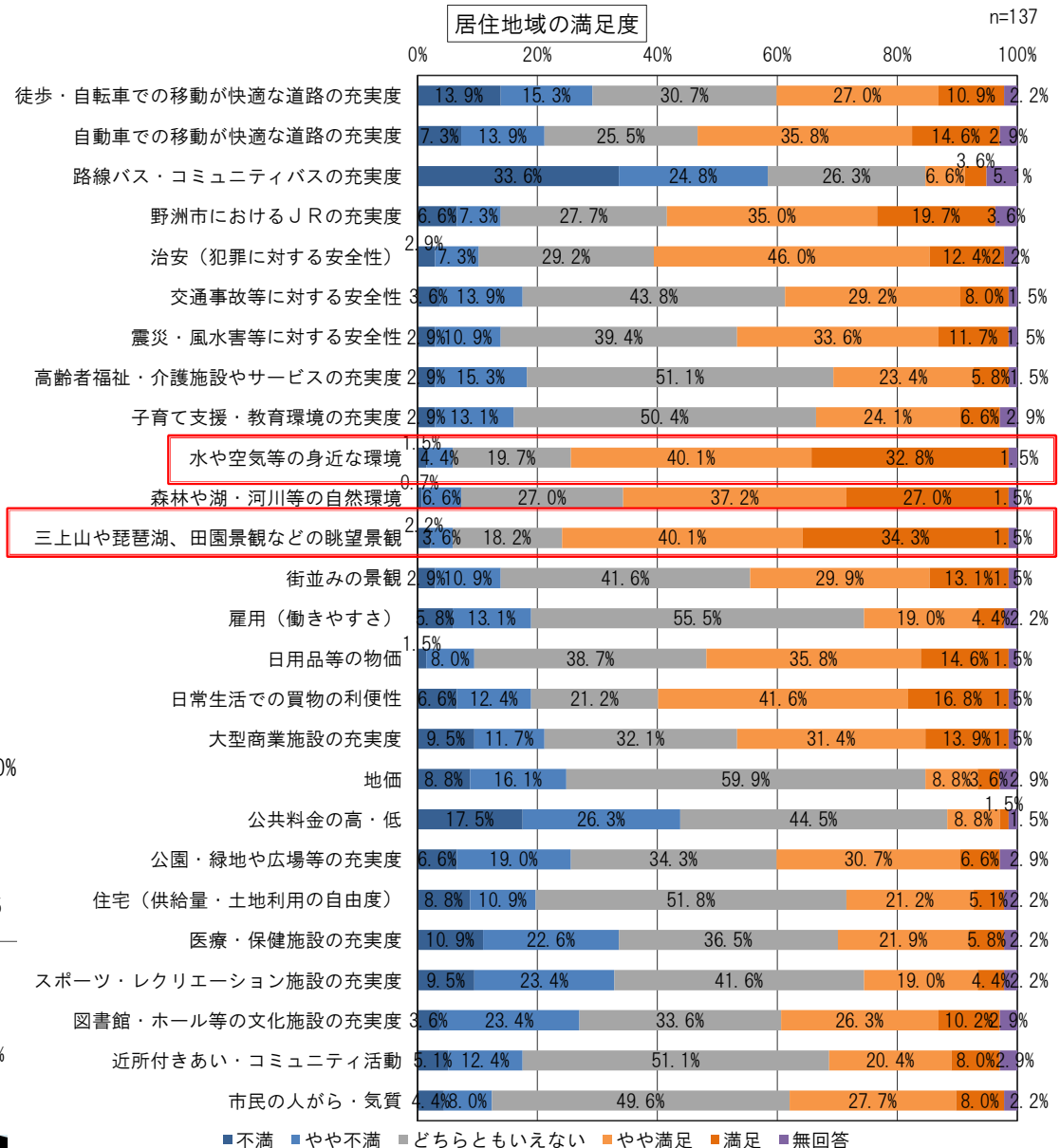
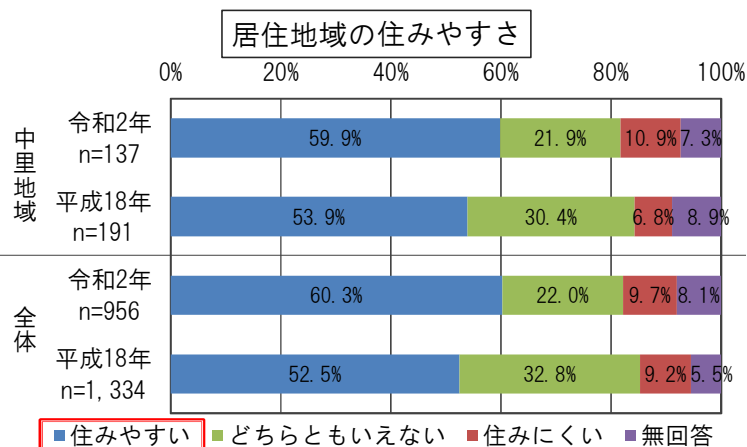
< 保育所・幼稚園位置図 >



(5) 住民意向 (市民アンケート結果)

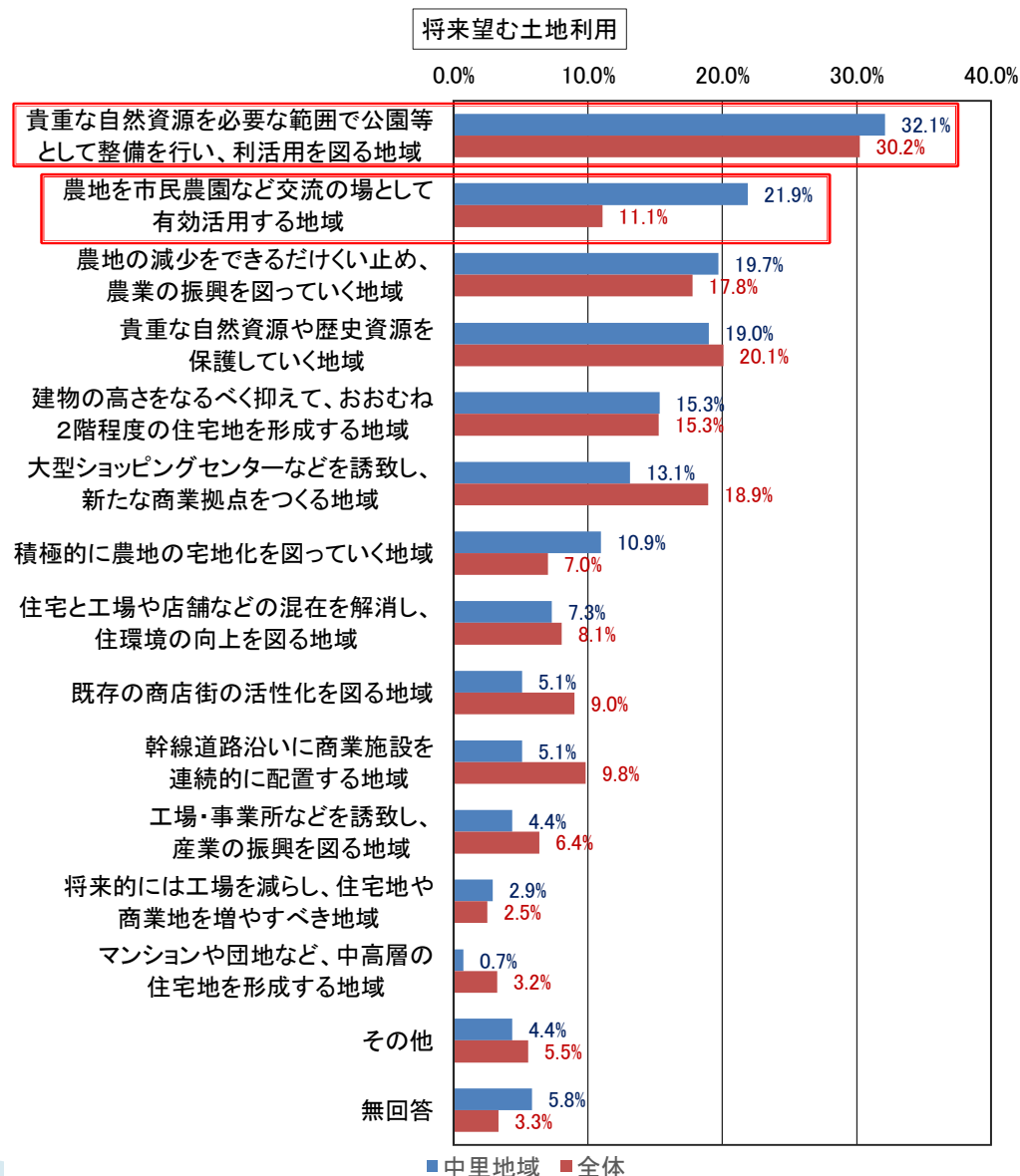
①地域の 住みやすさ

- 中里地域が住みやすいと感じる人は約60%で、平成18年調査に比べやや増加しており、市全体の割合とほぼ同じとなっています。
- 居住地域の満足度として、眺望景観や身近な環境への満足度が非常に高くなっています。



②将来望む土地利用

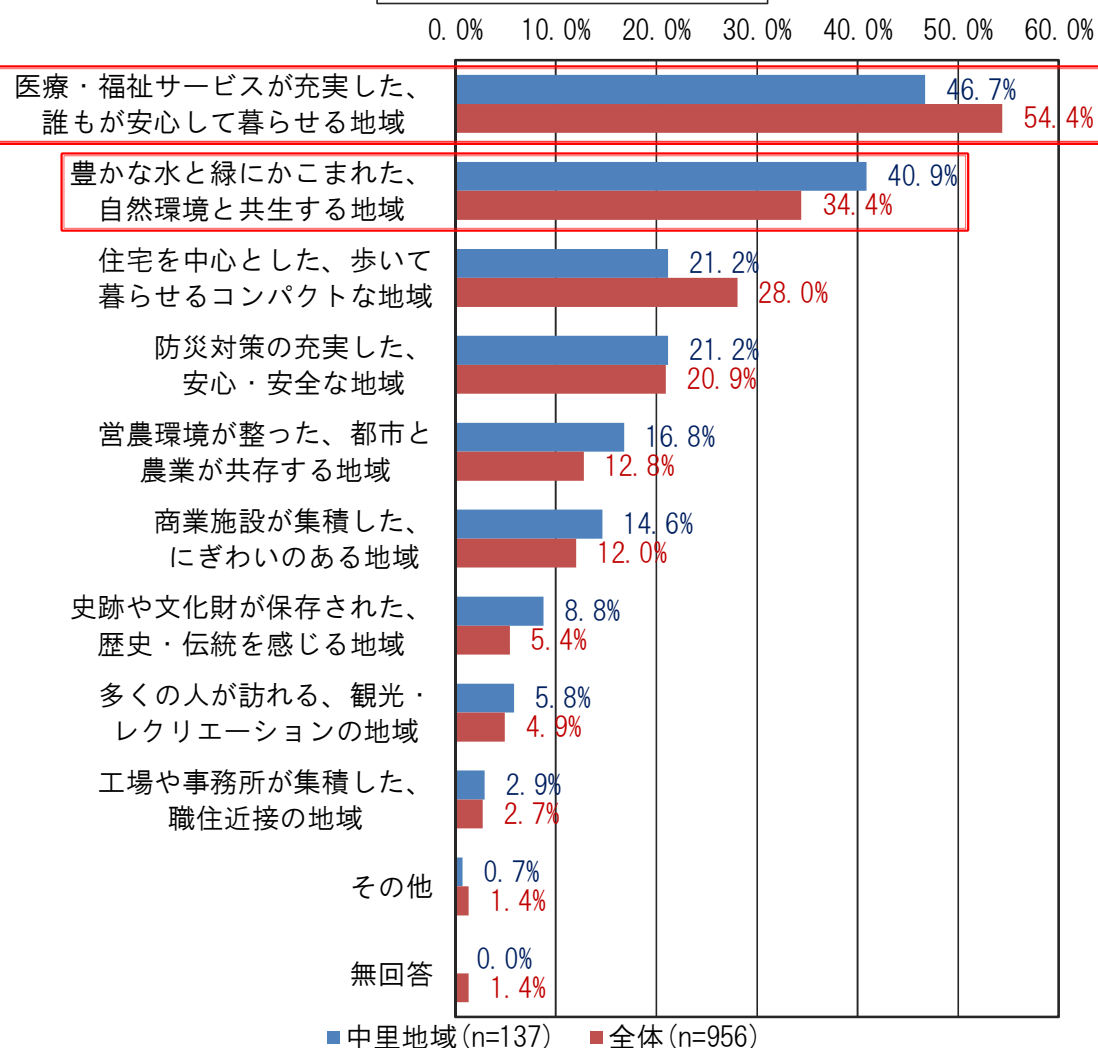
- 「貴重な自然資源を必要な範囲で公園や緑地として整備を行い、余暇活動の場として利活用を図る地域」を望む人が最も多くなっています。
- 「農地を市民農園など交流の場として有効活用する地域」を望む人の割合が、市全体と比べて高くなっています。



③中里地域の将来イメージ

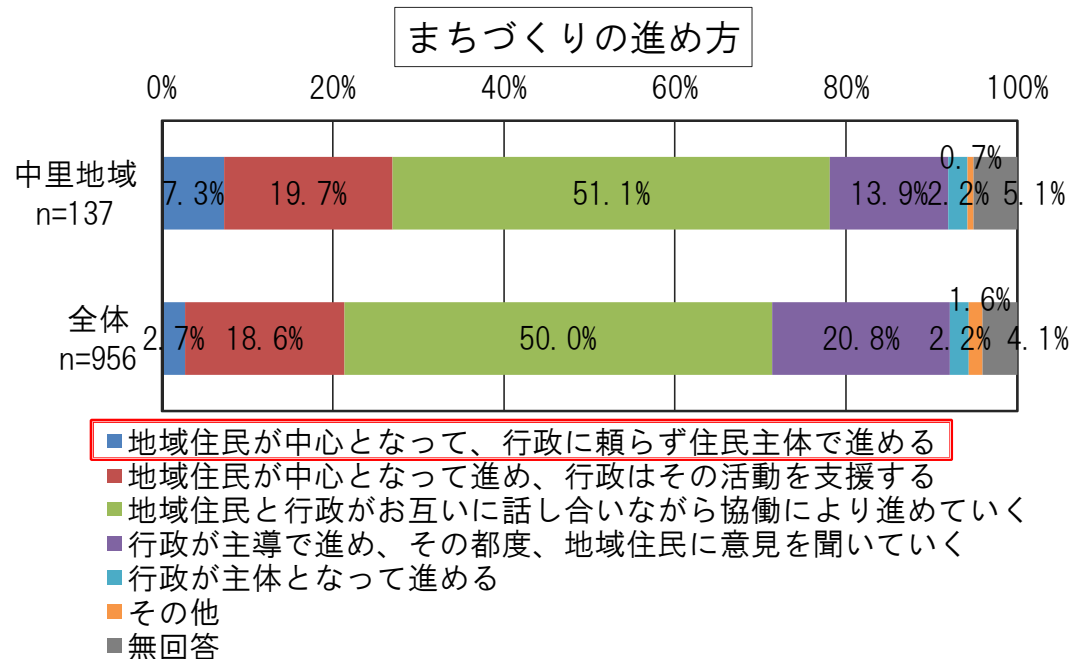
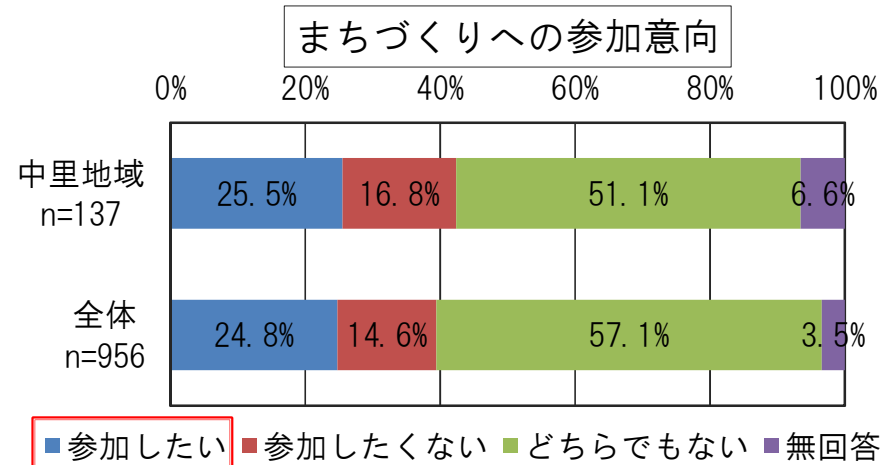
- 「医療・福祉サービスが充実した、誰もが安心して暮らせる地域」と考える人が最も多くなっています。
- 「豊かな水と緑にかこまれた、自然環境と共生する地域」を希望する意見が、他地域と比べ多くなっています。

居住地域の将来イメージ



④まちづくりへの関わりについて

- まちづくりに「参加したい」と思う人の割合は、市全体とほぼ同じ割合となっています。
- まちづくりの進め方については、「地域住民が中心となって、行政に頼らず住民主体で進める」ことが望ましいと思う人の割合が、市全体に比べ高くなっています。



地域別構想(骨子案)

地域の将来像

**豊かな水と緑にかこまれた、
自然と共存する住み心地のよいまち**

都市づくりの目標

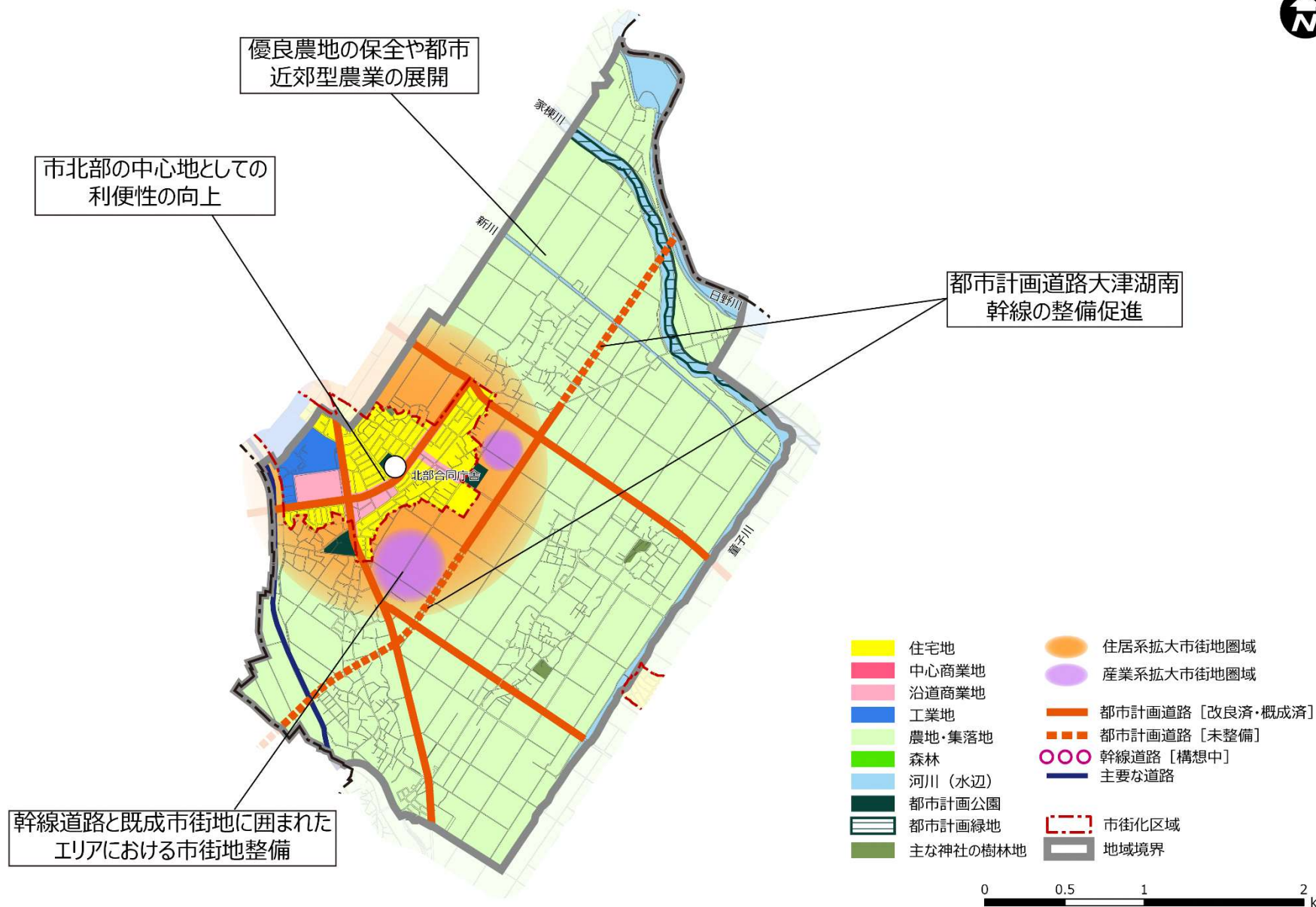
目標 1 市北部の拠点となる地域づくりを進めます

目標 2 大津湖南幹線沿道での、にぎわいある地域づくりを進めます

目標 3 潤いある水辺と農地を生かした地域づくりを進めます



中里地域のまちづくり方針図 (案)



説明は以上です。

より良い地域づくりを目指して
活発な意見交換をお願いします。

